

## 平成25年度 新規採用職員辞令交付式

H25. 4. 1(月)

本日、こうして皆さんを新たに島根県の職員としてお迎えしました。心より歓迎いたします。

いま、新しいエネルギーが県の組織に入ってきた、そういう感じがしております。

県職員になるということでは一番大事なことは、常に「県民の方々のために働く」という自覚を持つということにあります。

もちろんチームでありますからチームのために働くとか、あるいは家族のために働くといった面はあるのですが、働く目的というのは、やはり「県民のために働く」ということでありますから、そのことを頭の中に入れて職務に励んでいただきたいと思っております。

皆さんは、いま多くの方が学生から社会人になり、新しい世界、知らない世界に入られてこられたわけです。最初はどのようなふうに仕事をしたらいいのか、すぐには分からないでしょう。

上司や周りの様子をよく見たり、分からないことがあればよく聞いたりして、やっていってください。

仕事分かるようになる、あるいは、県民の方々のためにどうしたらいいのか、どうすれば行政の効率が上がるのか、そういうことが分かるようになるには一定の訓練、経験が必要でしょう。

1年や2年では、なかなかこうしたらいいという具合にはならないかもしれませんが。しかし、県民の方々にお会いしたり、お話ししたりする中で、どうしたらいいのか、どうしたら県民サービスを向上することができるのか、そういうことを常に頭の中に入れて、仕事に取り組んでいっていただきたいと思っております。

ご承知のように、島根県では、少子高齢化が進み、人口の減少も続いています。

島根県をいかにして活性化するか、元気にするかということは、県に課せられた大きな課題であります。

そのために、私は、職員全員に対して、「いろいろな状況に応じて、前例にとらわ

れない、斬新なアイデアや考えをどんどん出してください。そして、それを、職場の中でよく議論し、自由闊達に意見交換することによって、県の行政の効率化や改善を進めていくことが大事です。」とっております。

皆さんも、先ほど申し上げたような自覚を頭の中におきながら、仕事に取り組み、経験を積んで、「県民の方々に対するサービスや行政をいかによくしていくか」ということに参加していただきたい。早くそういうことができる職員に成長していただきたい、と思うのであります。

すぐにそういうことにはなりません、そういう気持ちを持って、周りの人の話をよく聞く、県民の方々の意見をよくお聞きする、困ったことがあれば助けになろうとする、そういう姿勢で働いていただきたい、そう思っております。

これから研修などもあるでしょう。あるいは職場でのオリエンテーションなどもあるでしょう。そういうことを聞きながら慣れていってください。

皆さんのこれからの活躍、ご健闘をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。頑張ってください。